



日本政策投資銀行「DBJ Green Building 認証」における  
有明セントラルタワー、『プラチナ』（最高ランク）  
日土地山下町ビル、『ゴールド』の認証取得について

日本政策投資銀行による「DBJ Green Building 認証制度」において、日本土地建物株式会社（東京都千代田区霞が関 1-4-1、代表取締役社長 吉田卓郎）と大和ハウス工業株式会社が共同で開発した「有明セントラルタワー」が、最高ランクである『プラチナ』の認証を取得しました。また、同制度において、当社が開発した「日土地山下町ビル」も『ゴールド』の認証を受けましたのでお知らせいたします。

「DBJ Green Building 認証制度」とは、2011年4月、日本政策投資銀行（以下 DBJ）により創設された新しい制度で、ビルの環境性能、防災、防犯、及び不動産を取り巻くステークホルダーからの社会的要請、時代の要請に応えた優れた不動産を選定・認証することにより、“Green Building”の普及促進、ビルオーナーの不動産管理・運営努力の「見える化」を目的としています。

認定は、DBJ が独自に開発したスコアリングモデルを利用し、「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の4段階の評価ランクで認証を行います。

「有明セントラルタワー」は、国際交流拠点である東京臨海副都心・有明に竣工した最新鋭のオフィスビルです。大和ハウス工業株式会社との共同事業で、ビル内には国際基準を満たすコンファレンスセンターを備え、隣接する東京国際展示場（東京ビッグサイト）のコンベンション機能の補完・拡充を図ります。また、防災物資の備蓄倉庫や仮設トイレなどを設け、隣接地にある「有明の丘基幹的広域防災拠点施設」とともに地域の防災活動をサポートいたします。さらに、自然換気、雨水利用など自然エネルギーの利用や地域冷暖房などの採用により、CO2削減を促進するほか、建物周辺や駐車場棟の屋上を緑化することで緑化率約40%を実現。地域や環境に優しい施設となっています。

「日土地山下町ビル」は、横浜・山下公園に近接するビルで、敷地内の四方に緑豊かな公開空地を設け、四季の季節感を取り入れたビルです。「横浜市市街地環境設計制度」と「横浜都心機能誘導地区建築条例」を活用し、高さ制限の緩和と容積率割増の適用を受けました。また、敷地内から出土した歴史的遺産を公開空地に展示しています。

今回の認定は、

- ① 最新技術をふんだんに盛り込むことで優れた環境性能を持っている点。
- ② 「有明セントラルタワー」においては世界からの多様なニーズに対応できるコンファレンス施設である「東京コンファレンスセンター・有明」を併設している他、託児所などのテナント利便施設も充実させることにより、オフィスビルとしての魅力を一層高めている点に加え、建物周辺や駐車場棟の屋上をふんだんに緑化する

ることで、潤いあるオフィス環境を実現しながらヒートアイランド対策にも大いに貢献している点。

- ③ 「日土地山下町ビル」においては、敷地内から出土した外国人居留地だった明治時代中期のレンガの建物基礎を展示するなど、横浜の歴史と都市景観に配慮したオフィスビルである点。  
などが高く評価されました。

## □ 物件詳細について



DBJ Green Building	プラチナ : 国内トップクラスの卓越した「環境・社会への配慮」がなされたビル 
物件名	有明セントラルタワー
所在地	東京都江東区有明 3-7-18
延床面積	71,281 m <sup>2</sup> (21,563 坪)
基準階面積	6～16 階: 2,482m <sup>2</sup> (約 750 坪) 17～20 階: 2,575m <sup>2</sup> (約 778 坪)
竣工	2011 年 1 月
規模	地下 1 階、地上 20 階、塔屋 3 階
構造	オフィス: 鉄骨造(柱 CFT 造) 鉄骨鉄筋コンクリート造 駐車場: 鉄骨造



DBJ Green Building	ゴールド : 極めて優れた「環境・社会への配慮」がなされたビル 
物件名	日土地山下町ビル
所在地	神奈川県横浜市中区山下町 23
延床面積	18,910 m <sup>2</sup> (5,720 坪)
基準階面積	878m <sup>2</sup> (265 坪)
竣工	2010 年 6 月
規模	地下 2 階、地上 14 階、塔屋 2 階
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 CFT 造 (一部鉄骨造)

## □ 【ご参考】日土地グループの環境対策について

日土地グループは、経営方針の一つに「企業活動を通じて社会に貢献する」という理念を掲げており、早くから環境問題に取り組んできました。

2010年11月には、環境問題へのより積極的に推進するための専担部署として、「環境対策推進室」を新設し、新築ビル、既存ビル、住宅、自社使用オフィスなど様々な分野で環境対策に取り組んでいます。

2009年2月には、経済産業省・資源エネルギー庁主催「ビルの省エネルギー推進表彰制度」において、「日土地ビル」が平成20年度「省エネルギー管理優良ビル」として表彰を受けました。

2010年2月、「日土地ビル」と「日土地亀戸ビル」が、平成21年度「省エネルギー管理優良ビル」として、また、「日土地西新宿ビル」が「省エネルギー管理向上ビル」として表彰されました。

また、ビルエネルギー消費量の6～8割を占めるといわれるテナント企業様との協働による省エネを推進しており、テナント企業様との環境対策推進会議や環境に関する講演会・勉強会を開催し、省エネ情報提供、相談などにのっています。

2009年には、テナント企業様への省エネの啓蒙活動の一つとして、「省エネアイデアコンテスト」も実施いたしました。

また、2005年から「コンバージョン」（用途変換によって不動産を再生させる建築法。廃材を削減し、環境に優しい建築）を推進しており、オフィスビルを賃貸マンションへコンバージョンした「ラティス青山」「ラティス芝浦」「ラティス三宮」、社員寮をシルバーホームへコンバージョンした「江古田シルバーホーム」、ゲストハウスを結婚式場にコンバージョンした「市ヶ谷ブライダルホール」など5物件が稼動しております。

今後も日土地グループは、「社会、人、環境、そして時代に優しく共存する」をテーマに、グループ全体でCO<sub>2</sub>削減に取り組んでまいります。

以上

### 【お問い合わせ】

日本土地建物株式会社  
経営統括部 広報室（原）  
TEL03-3501-6906 FAX03-3506-8940